

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	神村学園専修学校
設置者名	理事長 神村 慎二

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科	夜・通信	850 単位時間	240 単位時間	
	作業療法学科	夜・通信	1060 単位時間	240 単位時間	
	看護学科	夜・通信	2425 単位時間	240 単位時間	
社会福祉専門課程	こども学科	夜・通信	1440 単位時間	160 単位時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学園ホームページによる情報公開 <a href="http://www.kamimura.ac.jp/ot/index.html">http://www.kamimura.ac.jp/ot/index.html</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	神村学園専修学校
設置者名	理事長 神村 慎二

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学園総務室で閲覧による情報公開

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医師	令和2年4月1日～ 令和6年3月31日	経営・調整
非常勤	無職	令和2年4月1日～ 令和6年3月31日	経営・調整
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	神村学園専修学校
設置者名	学校法人 神村学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>○授業計画書(シラバス)の作成については、本校に設置している4学科(看護学科・理学療法学科・作業療法学科・こども学科)とも、当該年度の毎年度に作成している。作成過程において、非常勤講師や他学科の教員と連携を図りながら、各教員が科目毎の授業目標に照らし適切な教育内容を提供できるように記載内容を再検討し、必要時改定を行う。</p> <p>○授業計画書(シラバス)の内容として、各学科統一した様式を定め、「科目名」「授業目的」「授業計画」「成績評価の方法」「使用テキスト」等を明示している。また、学生に配布し説明するとともに、毎年度4月当初に学校ホームページにて公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学園ホームページによる情報公開</p> <p><a href="http://www.kamimura.ac.jp/ot/index.html">http://www.kamimura.ac.jp/ot/index.html</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>○ 「授業科目履修認定」及び「単位修得の認定」について、学則及び履修規定に規定するとともに、所定の授業科目を適切に受講し、授業科目(シラバス)に日頃の学習状況やレポート、定期試験等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。</p> <p>また、判定会議にて、所定の授業科目を適切に履修し、学習成果を適正に評価したことを単位の修得とし、単位を認定している。ただし、実習については、実習前後の評価を含め、実習成績と併せて単位を認定している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>○成績評価については、「客観的な指標の算出方法」として、各学科毎、各学年の年間履修科目の成績評価を点数化（100点満点）し、全科目の合計点の平均を算出している。（100点満点で点数化） 年間成績の分布を指標として、4段階、優（100～80点）・良（79～70点）・可（69～60点）および不可（59～0点）の数値を設定し、分布状況に対する人数を示している。</p> <p>○上記、「客観的な指標の算出方法」により、適切な各学科・各学年の分布図を作成し、成績評価による学業結果を総合的に判断している。 また、学校HP（ホームページ）に公表し、学生への周知を図り、学生の主体的に学ぼうとする学修意欲の向上の把握に努めている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学園ホームページによる情報公開 <a href="http://www.kamimura.ac.jp/ot/index.html">http://www.kamimura.ac.jp/ot/index.html</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に関わる取り組みの概要)</p> <p>○卒業の認定に関して、ディプロマポリシー（卒業の認定に関する方針）を策定し、各学科に共通して適用している。また、学生への周知を図るとともに、学校のホームページで公表している。実施にあたっては、学則及び履修規定に定める「卒業」を基に、学校運営会議の議を経て、学校長が卒業を認定している。</p> <p>神村学園専修学校 『ディプロマポリシー（卒業の認定に関する方針）』 ・卒業の認定に関する方針の具体的な内容 教育理念「実学による人間性豊かな人柄教育」の下、免許取得が最大の目的ではなく、その資格・免許を通して社会に貢献できる人材育成を教育の目標としている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学園ホームページによる情報公開 <a href="http://www.kamimura.ac.jp/ot/index.html">http://www.kamimura.ac.jp/ot/index.html</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	神村学園専修学校
設置者名	学校法人 神村学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学園総務室で閲覧による情報公開
収支計算書又は損益計算書	学園総務室で閲覧による情報公開
財産目録	学園総務室で閲覧による情報公開
事業報告書	学園総務室で閲覧による情報公開
監事による監査報告（書）	学園総務室で閲覧による情報公開

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	理学療法学科	○	×		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3050 単位時間	1804 <small>単位時間 /単位</small>	326 <small>単位時間 /単位</small>	920 <small>単位時間 /単位</small>	0 <small>単位時間 /単位</small>	0 <small>単位時間 /単位</small>
			3050 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生 数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		118人	1人	7人	14人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）の作成については、本校に設置している4学科（看護学科、理学療法学科、作業療法学科、こども学科）とも、当該年度の毎年度に作成している。内容として、「科目名」「授業目的」「授業計画」「成績評価の方法」「使用テキスト」等を明示している。また、学生に配布し説明するとともに、毎年度4月当初に学校ホームページにて公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 「授業科目履修認定」及び「単位修得の認定」について、学則及び履修規定に規定するとおり、所定の授業科目を適切に受講し、授業科目（シラバス）に記載している、日頃の学習状況やレポート、定期試験等による成績評価の方法と基準に沿って、単位を認定している。ただし、実習については、実習前後も含めての成績によって単位を認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定に関して、ディプロマポリシー（卒業の認定に関する方針）を策定し、各学科に共通して適用している。また、学生への周知を図るとともに、学校のホームページで公表している。実施にあたっては、学則及び履修規定に定める「卒業」を基に、学校運営会議の議を経て、学校長が卒業を認定している。

学修支援等 (概要) 成績評価として「客観的な指標の算出方法」において、下位 1/4 に該当する学生に対しては、担任および学科長が面接を行い、今後必要となる学習支援や生活指導等の学修支援を行う。また、必要に応じて保護者との連携を図っている。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36 人 (100%)	0 人 ( 0.0%)	28 人 ( 77.8%)	8 人 ( 22.2%)
(主な就職、業界等) 県内外の病院・クリニック、医療機関、福祉・保険施設等			
(就職指導内容) 3 年次の 10 月に就職説明会を開催する。適時、面接指導、履歴書の作成指導を行う			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家試験合格率（令和 2 年度） 理学療法士：80.8% 国家試験合格率（令和 3 年度） 理学療法士：77.8%			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
116 人	8 人	6.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振、健康上の問題		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・学力不足の学生に対しては、理解度が不足している学修において、放課後等の時間外に補講を行っている。 ・理学療法士としての魅力を伝えるために、病院等で見学や体験を実施している。 ・毎年度当初、後期開始時等定期的に面談を実施し、学生の不安や悩み等について把握するよう努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	作業療法学科	○	×		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3510 単位時間	1728 時間	702 時間	1080 時間	0 時間	0 時間
			3510 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		66 人	1 人	7 人	16 人	23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <p>授業計画書（シラバス）の作成については、本校に設置している4学科（看護学科、理学療法学科、作業療法学科、こども学科）とも、当該年度の毎年度に作成している。内容として、「科目名」「授業目的」「授業計画」「成績評価の方法」「使用テキスト」等を明示している。また、学生に配布し説明するとともに、毎年度4月当初に学校ホームページにて公表している。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>「授業科目履修認定」及び「単位修得の認定」について、学則及び履修規定に規定するとおり、所定の授業科目を適切に受講し、授業科目（シラバス）に記載している、日頃の学習状況やレポート、定期試験等による成績評価の方法と基準に沿って、単位を認定している。ただし、実習については、実習前後も含めての成績によって単位を認定する。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <p>卒業の認定に関して、ディプロマポリシー（卒業の認定に関する方針）を策定し、各学科に共通して適用している。また、学生への周知を図るとともに、学校のホームページで公表している。実施にあたっては、学則及び履修規定に定める「卒業」を基に、学校運営会議の議を経て、学校長が卒業を認定している。</p>	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <p>講義の中で小テストを行い学生の理解を確認しながら教授を行なっている。また令和3年度入学者からは学生に iPad を配布しデジタル教科書を導入しアクティブラーニングしやすい環境を整えている。また従来通り教科書以外の配付資料も準備し、分かりやすい講義となるように心掛けている。希望者には放課後を活用した補習も実施している。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28 人 (100%)	0 人 (0%)	19 人 (68%)	9 人 (32%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>県内外の病院をはじめ医院・クリニック・老人保健施設等へ就職</p>			

(就職指導内容) 面接練習をはじめ、身だしなみ、自己分析（長所、短所など）キャリアデザインなどを 中心に指導している。
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家試験合格率（令和2年度） 作業療法士：88.9% 国家試験合格率（令和3年度） 作業療法士：67.9%
(備考)（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
75人	4人	5.3%
(中途退学の主な理由) 成績不振、進路変更による。		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・学習に関しては、理解度が不十分な学生に対しては放課後等に個別対応を行う。 ・医療職としての魅力を感じてもらうために、教員の病院での仕事体験を通して学生 とコミュニケーションを図る（授業や面談にて） ・目指す将来像を少しでも明確にすることを目的に、5月上旬に早期臨床体験という 半日の治療場面見学を講義の中で行っている。 また定期的な面談を行い心理面のフォローを欠かさないようにしている。 ・担任等の個別面談による相談対応、定期的な面談、個別学習支援を行う。		



分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	看護学科	○	×		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3090 単位時間	2100 単位 時間	0 単位時 間/単位	990 単位 時間	0 単位時 間/単位	0 単位時 間/単位
			3090 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180 人		150 人	1 人	14 人	37 人	51 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ○授業計画書（シラバス）の作成については、当該学年度の毎年度に作成している。内容として、「科目名」「授業目的」「授業計画」「成績評価の方法」「使用テキスト」等を明示している。また学生に配布し説明するとともに、毎年度学校ホームページに公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） ○「授業科目履修認定」及び「単位修得の認定」について、学則及び履修規定に規定するとおり、所定の授業科目を適切に受講し、授業科目（シラバス）に記載している。日頃の学習状況やレポート、定期試験等による成績評価の方法と基準に沿って、単位を認定している。ただし、実習については実習の成績によって単位を認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） ○卒業の認定に関して、ディプロマポリシー（卒業の認定に関する方針）を策定し、各学科に共通して適応している。また、学生への周知を図るとともに、学校のホームページで公表している。実施にあたっては、学則及び履修規定に定める「卒業」を基に、学校運営会議の議を経て、学校長が卒業を認定している。
学修支援等
（概要） ○成績評価として「客観的な指標算出方法」において、下位 1/4 に該当する学生に対しては、担任及び学科長が面接を行い、今後必要となる学習支援や生活指導等の学習支援を行う。また、必要に応じて保護者との連携を図っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
54 人 (100%)	0 人 ( 0%)	46 人 ( 85.2%)	8 人 ( 14.8%)
（主な就職、業界等） 県内外のクリニック、病院への就職			

(就職指導内容) 面接練習をはじめ、身だしなみ、自己分析（長所・短所）、キャリアデザインなどを中心に指導をしている。
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家試験合格率（令和3年度） 看護師：85.2% 看護師国家試験合格率（令和2年度） 看護師：78.2%
(備考)（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
165 人	9 人	5.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更・病気療養によるもの		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習面に不安や理解が不十分な学生に対しては、放課後などに個別対応指導を行う。</li> <li>・目指す看護師像を明確にすること、動機付けをすることを目的に早期体験実習を計画している。</li> <li>・学業への不安などに関して担任等の個別面談・相談への対応、定期的な面談を行い心身ともにフォローを行う。</li> </ul>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
社会福祉分野		社会福祉課程	こども学科	○	×		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,230 単位時間	630 時間	1170 時間	400 時間	0 時間	30 時間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		61 人	人	6 人	18 人	24 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）は、全学科とも毎年度全履修科目について作成している。教育の質向上への取り組みの一環として、前年度、各教員が科目毎の授業目標に照らし適切な教育内容を提供できるように記載内容の再検討し改訂を行い、この結果、新年度授業計画書を作成する。また、非常勤講師や他学科の教員と連携を図りながらシラバスを作成しており、学科毎の教育目的・目標達成に向け体系的に配置されている。各教員は、シラバスの記載内容に沿って授業を進めている。
成績評価の基準・方法
（概要） 所定の授業科目を受講し、その科目の評価で合格し、単位を修得した者は履修認定し、当該学年の課程を履修したものに進級させる。理学・作業・看護学科については、本学校に3年以上在学し、また、こども学科は2年以上在学し、学則に定める授業科目の単位（理学療法学科は113単位・作業療法学科は119単位・看護学科は98単位・こども学科は83単位）の認定を受けた者については、学校運営会議の議を経て、学校長が卒業を認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 所定の授業科目を受講し、その科目の評価で合格し、単位を修得した者は履修認定し、当該学年の課程を履修したものに進級させる。理学・作業・看護学科については、本学校に3年以上在学し、また、こども学科は2年以上在学し、学則に定める授業科目の単位（理学療法学科は113単位・作業療法学科は119単位・看護学科は98単位・こども学科は83単位）の認定を受けた者については、学校運営会議の議を経て、学校長が卒業を認定する。
学修支援等
（概要） 個々の学生の、社会性・コミュニケーション力・文章力等を考慮した指導を実施している。レポート作成においては、下書き段階での添削指導や補講を実施している。授業では、聴くだけの一方通行型の方式を極力少なくし、教員や学生同士のやりとりを通じた方式の授業ができるよう工夫している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29 人 (100%)	0 人 (%)	29 人 (100%)	0 人 (%)
（主な就職、業界等） 保育所・幼稚園・認定こども園・児童養護施設・児童発達支援センター、事業所			
（就職指導内容） 適性検査 個人面談			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士国家資格 幼稚園免許2種免許状			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
63 人	3 人	4.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更／学業困難		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な面談／学習支援		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法学科	300,000 円	900,000 円	200,000 円	
作業療法学科	300,000 円	780,000 円	200,000 円	
看護学科	200,000 円	760,000 円	200,000 円	
こども学科	150,000 円	595,000 円	40,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学園ホームページによる情報公開 <a href="http://www.kamimura.ac.jp/ot/index.html">http://www.kamimura.ac.jp/ot/index.html</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>学校関係者評価の基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校関係者評価は、業界団体・企業、卒業生、保護者等の役職員及び当学園関係者から構成される学校関係者評価委員会を設置し、学校と業界団体・企業や保護者などがお互いに理解を深める場であると考え。</li> <li>・委員会において、当学園の自己点検・自己評価委員会が、「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいて取りまとめた神村学園専修学校自己点検・自己評価報告書の評価し、学校運営に関する改善のための助言及び支援を行うことを基本とし、自己評価の客観性・透明性を高めていきたい。評価項目は、文部科学省ガイドラインに沿って、主に下記の11項目について評価を行う。①教育理念、目標、人材育成像 ②学校運営 ③教育活動 ④学修成果 ⑤学生支援 ⑥教育環境 ⑦学生の受け入れ募集 ⑧財務 ⑨法令の遵守 ⑩社会貢献・地域貢献 ⑪国際交流について評価する。</li> <li>・委員会では、各年度において、前年度自己点検・自己評価報告書の説明、評価、検討を行う。</li> </ul> <p>その後、学校関係者評価報告書をホームページにてその内容を公開するとともに、改善提案を自己評価改善方策の検討において活用し、次年度の重点目標の設定や具体的取組の改善を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会は学園と一緒に学生のことを考え、それぞれの立場、視点から意見を出し合うことで、より良い学校づくりに寄与する。</li> </ul>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
有限会社 みその	令和4年4月1日～ 令和7年3月31日	企業等委員
青山幼稚園	令和4年4月1日～ 令和7年3月31日	企業等委員
前原総合医療病院	令和4年4月1日～ 令和7年3月31日	企業等委員
新門整形外科	令和4年4月1日～ 令和7年3月31日	企業等委員

いちき串木野市医師会立脳神経外科センター	令和4年4月1日～ 令和7年3月31日	卒業生委員
社会福祉法人 市比野福祉会	令和4年4月1日～ 令和7年3月31日	卒業生委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学園ホームページによる情報公開 <a href="http://www.kamimura.ac.jp/ot/index.html">http://www.kamimura.ac.jp/ot/index.html</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学園ホームページによる情報公開 <a href="http://www.kamimura.ac.jp/ot/index.html">http://www.kamimura.ac.jp/ot/index.html</a>
--